

活 動 報 告

ところざわ倶楽部

野老澤の歴史を楽しむ会

2018年7月10日 記 安田 好子

「所沢遺跡発掘の歩み」講座

実施日 2018年7月5日（木） 14:00～16:00

参加者 28名（他サークル参加者6名）

講 師 中島 規視生氏

場 所 中央公民館



講師 中島規視生氏

今回はさながら移動博物館の雰囲気にも包まれての講演でした。中島氏が写真、土器（レプリカではない）を持ってきてくださり、受講生を3万年前へと誘った。

◆ 所沢市の発掘史

市内には埋蔵文化財包蔵地 166カ所が周知され、77カ所401調査区で発掘調査が行われている。その中で、トピックス的な発掘調査が下期のように挙げられる。

昭和20年（1945） 北秋津横穴墓の発見（古墳時代終末期～奈良時代初期）

昭和25年（1950） 久米土師住居跡（奈良・平安時代）

昭和28年（1953） 小手指中学校校庭遺跡（縄文中期・弥生時代後期～古墳時代前期）

昭和41・48年

（1966・73） 砂川遺跡（旧石器時代）の発掘調査



粕谷氏が講師紹介



受講風景

- 昭和 42 年（1967）膳棚遺跡（縄文時代中期）の発掘調査
- 昭和 49 年（1974）東の上遺跡第 1 次（縄文中期・奈良・平安時代）市単独の発掘
- 昭和 51 年（1976）滝の城横穴墓群（古墳時代終末期～奈良時代初期）人骨・副葬品出土
- 同年 市単独での発掘調査開始
- 同年 東の上遺跡から弥生時代後期住居跡群の発見
- 昭和 54 年（1979）椿峰遺跡群（旧石器～中近世）の発掘。大規模開発に伴う発掘調査
- 昭和 56 年（1981）お伊勢山遺跡群調査開始。早稲田大学所沢キャンパス
- 昭和 57 年（1982）日向遺跡（旧石器～近世）県立緑ヶ丘高校（現 総合芸術高校）
- 昭和 59 年（1984）山下後古墳群（竪穴式系 古墳時代後期）の発見
- 同年 中砂遺跡（旧石器時代）出土石器は県有形文化財に指定される
- 昭和 60 年（1985）宮前遺跡（弥生時代後期）方形周溝墓の発見
- 昭和 61 年（1986）滝の城跡（中世）外郭より障子堀の発見
- 平成元年（1989）東の上遺跡東山道武蔵路の発見
- 平成 3 年（1991）滝の城跡 本郭より四脚門跡を発見
- 平成 4 年（1992）第二椿峰遺跡群（旧石器～現代）調査開始。縄文時代前期の集落跡を発見
- 平成 5 年（1993）砂川遺跡 出土石器は国重要文化財に指定される
- 同年 東の上遺跡 漆紙文書・炭化米（奈良平安時代）・方形周溝墓群（弥生時代後期）鎌倉街道（中世）の発見
- 平成 6 年（1994）市立埋蔵文化財調査センターの開設
- 同年 海谷遺跡古墳跡（横穴式石室 古墳時代後期）の発見
- 宮前遺跡 古墳時代前期の焼失大型居跡を発見



所沢発掘の土器



所沢発掘の土器

- 平成 13 年（2001）膳棚東遺跡 古墳跡（竪穴系粘土槨 古墳時代後期）の発見
- 平成 17 年（2005）東原遺跡 縄文時代中期住居跡55軒検出。東川沿いの大集落を発見
- 平成23年（2011）滝の城跡整備にかかる発掘調査を開始。特殊土坑・大井戸跡・門跡の発見
- 同年 柳野遺跡東山道武蔵路の発見
- 平成28年（2016）膳棚遺跡出土遺物が所沢市で一括保管する

＊ 他サークルからの参加受講者の感想

所沢地域にこんなにも多くの遺跡があることを知りませんでした。他サークルも聞いてみるものですね。また土器まで手に取って見られてありがたかったです。次回も期待しています。